

令和4年第1回定例会（6月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

当日配付分

令和4年6月7日

農 林 水 産 部

目 次

- 1 サキホコレのブランド化戦略の推進状況について
[水田総合利用課秋田米ブランド推進室] ----- 1
- 2 おうとうの結実不良について [園芸振興課] ----- 3
- 3 野生イノシシへの豚熱経口ワクチン散布について [畜産振興課] ----- 5

1 サキホコレのブランド化戦略の推進状況について

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

春作業は概ね順調に推移したところであり、今後、高品質・良食味米の生産に向け、研修会等を開催するとともに、本格デビューに向け、プロモーション等を展開していく。

1 春作業の状況等

- 今年度は、16生産団体、742haで作付けを行い、約4千トンを生産する計画となっている。
- 苗の生育は順調で、田植え作業は、5月10日頃から23日頃にかけて実施され、概ね適期に行われた。

2 今後の主な取組

(1) 生産対策

ア 技術情報の発行及び栽培技術研修会の開催

- ・ 内 容 生育診断・追肥（7月）、適期刈取（9月）、実績検討（12月）

イ 生産者協議会の開催

- ・ 内 容 現地研修会（8月）、全体研修（12月）

ウ サキホコレマイスターの委嘱

- ・ 時 期 令和4年12月
- ・ 活動内容 新規生産者等への助言、研修会での事例報告、PR活動

(2) 流通・販売対策

ア 取扱店登録制度による小売店や飲食店の募集・登録

- ・ 時 期 令和4年6月～9月
- ・ 対 象 キャンペーン等で連携する小売店・飲食店

イ イメージキャラクター（タレント）の発表

- ・ 時 期 令和4年6月下旬
- ・ 内 容 全国プレスリリース、ビデオメッセージの公開

ウ イベント・キャンペーンの実施

- ・ 時 期 令和4年11月上旬～
- ・ 内 容 デビューイベント（県内・東京都）、サンプル米配布キャンペーン、ホテル等でのメニュー提供、サキホコレ音頭大会、贈答キャンペーン 等

エ 広報活動

- ・ 時 期 令和4年10月～
- ・ 内 容 インターネット広告、テレビCM、専門誌への広告、主要駅等へのポスター掲出 等

【参考】 令和4年度「サキホコレ」生産団体一覧

No.	生産団体名	集荷業者名	面積 (ha)	生産者 (経営体)
1	JA秋田なまはげサキホコレ栽培研究会	秋田なまはげ農業協同組合	77	74
2	JAあきた湖東サキホコレ生産部会	あきた湖東農業協同組合	46	33
3	サキホコレ栽培研究会	(株)大潟村カントリーエレベーター公社	32	15
4	秋田しんせい農業協同組合サキホコレ栽培研究会	秋田しんせい農業協同組合	67	80
5	JA秋田おぼこサキホコレ生産専門部会	秋田おぼこ農業協同組合	202	145
6	JA秋田ふるさと秋田ブランド米栽培研究会	秋田ふるさと農業協同組合	140	111
7	JAこまち稲作連絡協議会新品種栽培研究部会	こまち農業協同組合	41	39
8	JAうごサキホコレ栽培研究会	うご農業協同組合	20	31
小計(①)			624	528
9	秋田県主食集荷商業協同組合サキホコレ協議会	秋田県主食集荷商業協同組合	83	64
小計(②)			83	64
10	農友サキホコレ栽培研究会	(株)農友	7	3
11	大潟村サキホコレ研究会	(株)大潟村あきたこまち生産者協会	4	3
12	利活秋系会	(株)利活用秋田	7	5
13	大潟村同友会良食味研究会	(株)大潟村同友会	8	3
14	にかほサキホコレ栽培協議会	(有)なるほど舎	1	3
15	美味米栽培研究会	(有)三信	5	4
16	仙北市新品種栽培研究会	(農)サンファーム西木	5	5
小計(③)			35	26
合計(①+②+③)			742	618

※表示単位未満を四捨五入したため、合計が一致しない。



〔育苗に関する技術研修会（5月2日）〕



〔知事による田植え（5月12日）〕

2 おうとうの結実不良について

園芸振興課

雄勝地域において、開花期間中の低温などの影響により結実量が平年の約4割となっており、生産量の大幅な減少が見込まれる。

1 結実の状況

- 5月26日にJAや湯沢市、県などが実施した結実調査では、主力品種「佐藤錦」の結実量は平年の37%となった。

【1果そう当たりの結実数】

	佐藤錦	紅秀峰
本年	0.75	1.65
平年	2.03	3.20
平年比(%)	37	52

※ 果そう：花が咲いて実がなるかたまりのこと

2 結実不良の原因

- (1) 開花が平年より約5日早まったため、結果的にミツバチ設置日が開花から遅れ、設置後も低温と強風によりミツバチの活動が停滞したこと。
- (2) 満開後に、低温や強風、降雨、降雪があり、受粉に適した日が2日程度（通常1週間程度）と極端に短かったこと。

3 今後の対応

(1) 技術的な指導

- ・ 品質の高い果実を収穫できるよう、現在、着果している果実の管理を徹底
- ・ 来年度の生産に影響しないよう、適切な栽培管理を励行
- ・ 来年度の結実確保に向け、受粉環境の整備や人工受粉の実施を徹底

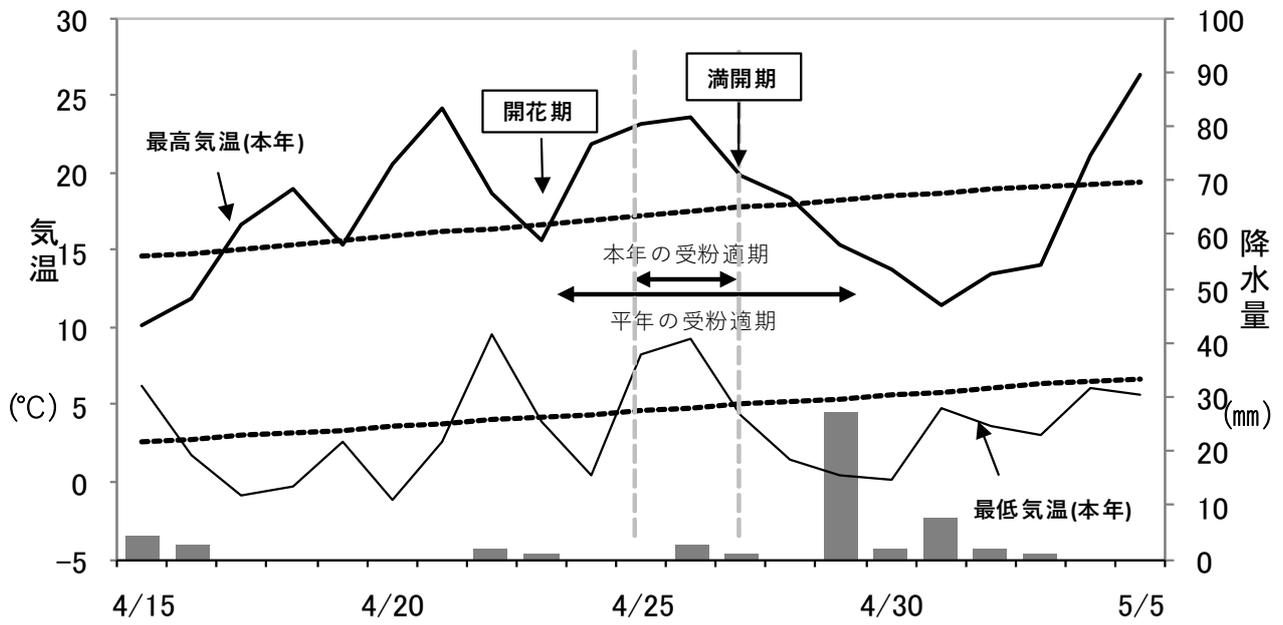
(2) 経営面での支援

収入の減少が見込まれることから、来年度に向けて必要な管理ができるよう、関係機関が連携して支援する方向で協議中。

- ・ 防除への支援：湯沢市（農薬等の購入助成）
- ・ 防除等の低コスト化、受粉体制の強化：県（夢ある園芸産地創造事業の弾力的運用）
- ・ 運転資金の融通：公庫、JA（セーフティネット資金など）

【参考】

1 湯沢市の気象経過



2 結実状況



3 野生イノシシへの豚熱経口ワクチン散布について

畜産振興課

1 今年度の経口ワクチン散布実施計画

(1) 目的

野生イノシシを介して豚熱ウイルスが養豚場周辺に拡散するリスクを低減する。



〈経口ワクチン〉

(2) 散布地域

「豚熱経口ワクチンの野外散布実施に係る指針」(農林水産省)に基づき、県内で目撃及び捕獲件数が多い地域を選定

- ・ 5市町村(由利本荘市、にかほ市、湯沢市、羽後町、東成瀬村)

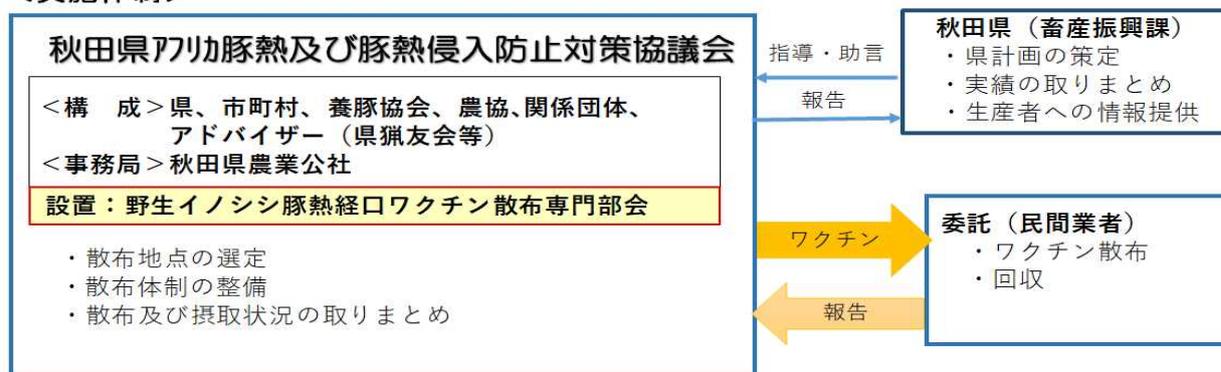
(3) 散布時期と摂取状況の確認

- ・ 年2回(春期5～6月、秋期10～11月)、1市町村10か所×20個/回
由利本荘市(散布 5/20)、湯沢市(散布 6月上旬)
にかほ市、羽後町、東成瀬村(散布 6月中旬)
- ・ 散布後5日目以降に摂取残さの容器等を回収し、摂取状況を確認
- ・ サーベイランスの実施(捕獲・死亡した野生イノシシの遺伝子検査、抗体検査)

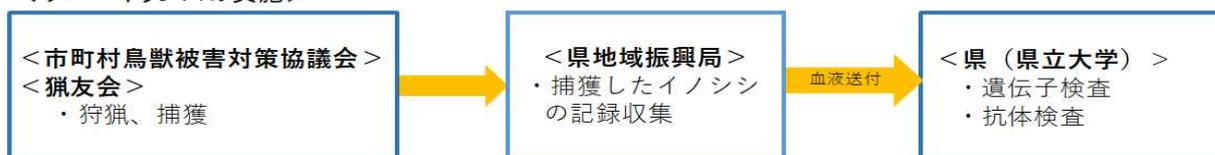
2 由利本荘市での実施状況

	散布地点数	散布ワクチン個数	摂取割合(%)
由利本荘市	8	176	82.4
都府県平均	1,833	39,185	29.0

＜実施体制＞

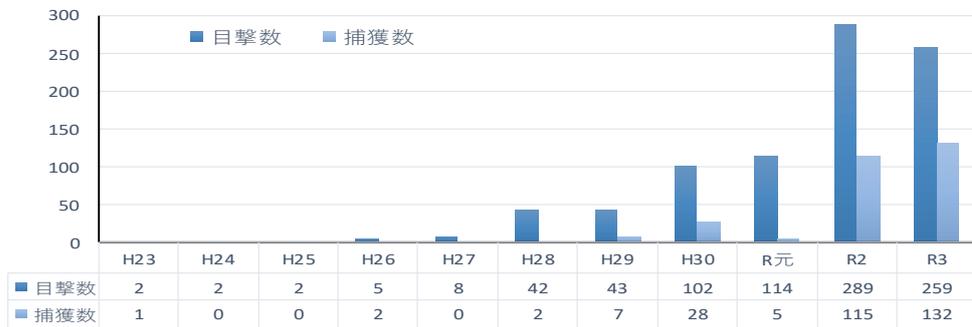


＜サーベイランスの実施＞



【参考】野生イノシシの動向

1 県内における年度別目撃・捕獲頭数

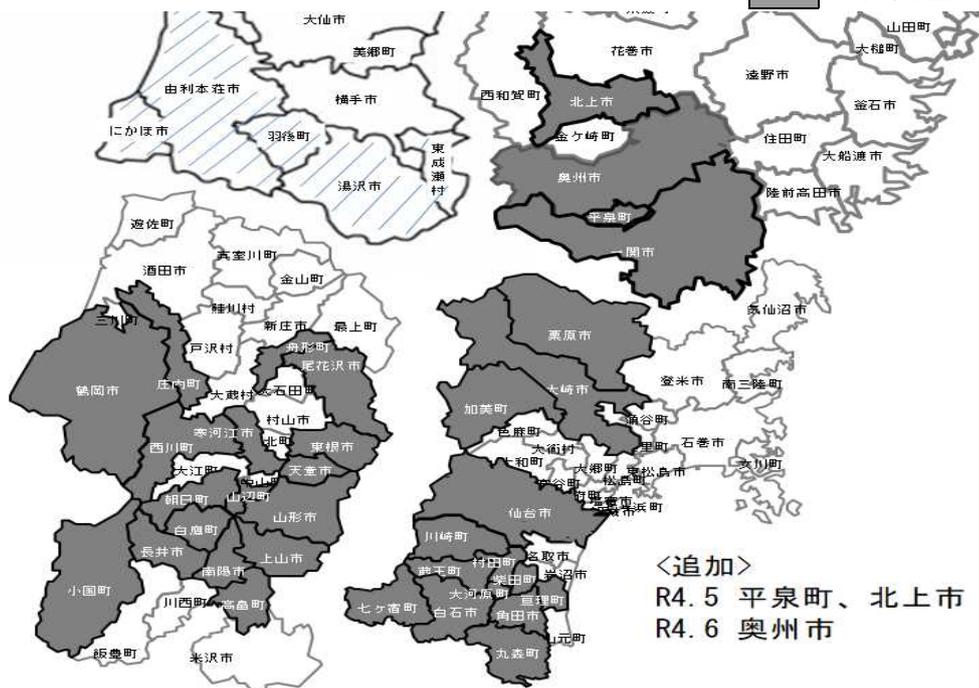


2 豚熱の検査状況 (頭)

	H30	R元	R2	R3	計
検査頭数	2	0	40	39	81
陽性頭数	0	0	0	0	0

3 隣県の野生イノシシ豚熱発生状況

凡例：
 ワクチン散布市町村
 豚熱発生市町村



4 隣県の豚熱検査頭数及び陽性頭数の累計 (H30.9～)

	検査頭数	陽性頭数	備考
青森県	10	0	5/25現在
岩手県	627	13	6/2現在
秋田県	81	0	6/2現在
宮城県	672	135	6/2現在
山形県	564	121	5/25現在
福島県	450	46	5/25現在